図書館でおすすめする子どもの本

小学校 1・2年生向け

ターちゃんとペリカン



ドン・フリーマン／さく
さいおんじさちこ／やく
ほるぷ出版

まいとしなつやすみになると、うみべでキャンプをするターちゃん。ことしはそこでペリカンとともだちになりました。

ようこそ！虫のぬけがら博覧会



森上信夫／写真・文
少年写真新聞社

色々な昆虫のぬけがらが見られておもしろい。トンボにセミ、タガメやイモムシ、バッタにチョウ、カマキリ、テントウムシ、まだまだあるよ。

がっこうかっぱの生まれた日



山本悦子／作
市居みか／絵
童心社

かっぱのコケマルが、がっこうのいけにすむ「がっこうかっぱ」になるまでのものがたり。

ブックキャット　ネコのないしょの仕事！



ポリー・フェイバー／作
クララ・ヴリアミー／絵
長友恵子／訳
徳間書店

せんそうちゅうのロンドンでうまれた黒ネコのモーガン。ブックキャットって何をするの？

ざりがにのおうさま　まっかちん



おおともやすお／さく
福音館書店

こどもたちは、ざりがにつりがだいすき。のぞみも、てづくりのつりざおでちょうせんします。

サリーのこけももつみ



ロバート・マックロスキー／文・絵
石井桃子／訳
岩波書店

こけももつみにやってきたサリー。むちゅうでたべていたら、おかあさんとはぐれてしまいました。音をたよりにさがしていると…。

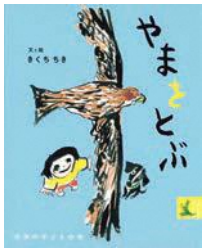
ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの？



中山信一／え
高岡昌江／ぶん
あすなろ書房

わたしのはなとゾウのはな。あなのかずは2つでおなじ。ゾウのながいはなのあなはいったいどこまでつづくんだろう。

やまをとぶ



きくちちき／文・絵
岩波書店

ぼくのうちはやまにかこまれている。いぬのくろもいる。ぼくのうちのまわりにはいろんないきものがすんでいるんだよ。

とってもすてきなおうちです



なかがわちひろ／文
高橋和枝／絵
アリス館

こまったり、めんどくさいこともあるけれど、あたたかくてほっとする。とってもすてきなおうちです。じまんのわがやへようこそ。

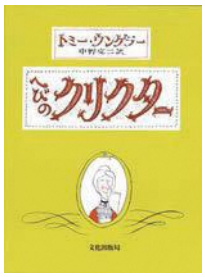
きりんのこが　せのびをしています



林　木林／作
山口マオ／絵
金の星社

おかあさんみたいに、せがたかくなりたくて、たかくたかーくせのびをしていたら、ゆめのようなことがおきたよ。

へびのクリクター



トミー・ウンゲラー／作
中野完二／訳
文化出版局

クリクターはボドさんのヘビです。ある日ボドさんの家にどろぼうが入り…。クリクター大活躍のおはなし。

ウサギのソロモン、へんしんする



ウィリアム・スタイグ／作・絵
さくまゆみこ／訳
徳間書店

うさぎのソロモンは、すきなときにさびたくぎにへんしんして、みんなをおどろかせていたけれど、ある日シチューにされそうになり…。

くじらのぷうぷう



はらまさかず／ぶん
山本久美子／え
イマジネイション・プラス

ひとりぼっちだったぷうぷうに、ともだちができてたびをするなかで、かんきょうについてもしることができるえほん。

ピクルスとともだち



小風さち／文
夏目ちさ／絵
福音館書店

こぶたのピクルスに新しい友だちができました。ある夏の日、スイカは何でも聞いているからきをつけた方がいいといわれ…